

NO. **31**

発行 三好市議会
編集 議会広報編集委員会
三好市池田町シンマチ1500番地2
TEL 0883-72-7630
FAX 0883-72-3494

おもな内容

代表質問	2
一般質問	3~11
12月定例会議	13~16
委員会報告	17~19
議会のうごき・編集後記	20

議会 だより



1月9日書き初め大会をしました。

東祖谷小学校

吉田和男
(新和会)

Q 平成26年度当初予算編成方針と芸術文化振興条例制定は

A 市民の生命と財産を守ることを主眼とし、より効率的な予算編成に

Q 少子高齢化、過疎化が加速し、

限界集落から崩壊集落へと進行す

る中、合併による地方交付税の特

例措置期限が迫っている厳しい状

況下で、あらゆる機会を最大限活

用する積極的な取り組み、体制づ

くりが重要である。

平成26年度当初予算編成で、市

民の安心・安全なまちづくりの推

進と持続可能な行政運営を図る

ため、何を重点的に位置づけ、重

要施策として取り組んでいくのが

基本的な考え方、方針を問う。

A 国の中期財政計画や地方財政

対策等その方針を踏まえ、地方財

源の確保を含め数多くの不確定要

素や動向を今後注視して行く必要

がある。

平成26年度当初予算編成方針

は、当市の財政課題を直視し、持

続可能な財政構造を築くため、集

中改革プランを着実に推進し、将

来の財政負担の抑制を図り、限ら

れた財源を地域住民のため、より

効率的な事業執行となる予算編成

としたい。

特に、市民の暮らしを守る施策

の計画的な対応が必要で、観光・

農林業振興はもとより、即効性の

ある地域経済対策予算として生活

道等の整備、南海トラフ大地震

への対策をはじめとする防災・減

災や住環境整備等、インフラの老

朽化、耐震化対策、各種施設設備

の整備を重点に、集落維持、鳥獣

被害対策の強化、乳幼児医療費助

成制度の拡大等ハード、ソフト両

面の事業予算で、三好市に生まれ

てよかった、住んでよかった、訪

れてよかったと言われるまちづく

りに取り組みたい。

Q プラスアルファ予算編成と基

本方針公開の考え及び失業雇用経

済対策の予算化は。

A 現時点で方向性を示す程度で、

要求段階での基本方針等の公開は

考えていない。

今後の状況にもよるが、公共事

業は前年並み、公約については最

大限早く予算に反映したい。

Q 事前の防災・減災対策が非常に

大事である。長時間滞在できる避

難所や備蓄食糧（ローリングスト

ック等）の確保、孤立集落対策、

避難所の耐震化など課題はある

が、その中で備蓄計画予算は。

A 災害は発生時期、時間を予知

することは非常に難しい。

住民一人一人が自らの身の安全

はみずからが守る基本認識が重

要、ヘリポート等の整備（適地は

市内18ヶ所）や10000人に対し

3日分の備蓄を計画。

Q 船井電機池田工場跡地の活用

は。

A 更地にし、着実にステップを

踏んで推進する。

Q 芸術・文化振興条例制定の有無

と、文化振興の核として何を想定

しているか。

A 文化芸術基本法に則り、交流

のまちづくりを基本とし文化の振

興を推進する。

三好市文化振興計画は市民参画

のもと来年度中の策定を予定。



西内浩真

Q 市職員、誰にでも要望は可能か

A 要望は担当課に取りつける

Q 池田高校野球部が見事四国大会準優勝を勝ち取り、春の全国選抜大会出場がほぼ確定した。甲子園出場となれば、全国の強豪校からの練習試合の申込みが増加し、池田球場での試合数も増加する。それに伴い山城総合グラウンドの利用も増加すると考える。両グラウンドの更なる整備を望む。今後の整備計画を問う。

A 池田球場にはスポーツトラックを順次更新、山城総合グラウンドのフェンス設置は予算の範囲内で可能な限り対応していく。

Q これからの季節、積雪や凍結により生活に支障がでくると思われる。今年の除雪作業計画を問う。

A 近隣建設業者に依頼し、幹線道路やバス路線から順次作業に取りかかる。重機借り上げ料として、当初及び補正予算で約450万円予算計上している。また市内

十数カ所に凍結防止剤を配置し、市民に利用していただき安全な交通に寄与してもらいたい。

Q 市内各地に在住している市職員が、たとえ建設課でなくとも、その職員に要望すれば担当課に伝えてもらえるのか。

A 除雪作業以外でも要望があれば担当課に取りつけるよう周知徹底する。



山城総合グラウンド

美浪盛晴

Q 池田中学工事入札は情報漏えいだ

A 答弁ちよっと差し控える

Q 第3セクターふるさと夢企画をつぶすのか。井川スキー場の指定管理が受けられず、従業員や一般株主は不安になっているが、市は会社と協議したか。

A 株式会社ふるさと夢企画は清算されると考えている。答弁はおつむ返しになる。

Q 平成19年7月の池田中学校校舎及び屋内運動場工事入札は、入札書比較制限価格14億4646万円であった。落札価格は14億4650万円である。13億7260万円の業者が失格しているが、A業者が告発した大型公共工事の最低制限価格の書面には14億4646万4250とある。これは俵市長の入札情報漏えいであり、失格業者価格との差額7390万円は市の歳出増となっている。市は公共工事入札適正化法により違反行為であると疑う事実を公正取引委員会に通知すべきではないか。

また、情報公開が遅れた理由は何か。

A 池田中学校工事入札は適正に執行された。議員が指摘する対応は考えていない。平成25年6月から予定制限価格の事後公表をしている。過去のものの事後公表については情報公開審査会の決定・結論を得ていたので2週間より後になった。

Q 筆跡も似ているが、事後で誰かが漏らしたのか。

A 答弁ちよっと差し控える。



(その時書かれた書面と
予定制限価格の写真)

士井忠行

Q 交流人口拡大の施策は

A 観光・文化を中心としたネットワーク化で

Q 本市では人口減少が進み、産業基盤も次第に地盤沈下しつつあるが、疲弊する三好市の活性化を図り、持続可能な三好市の将来像の実現のためには、外部経済の導入による地域経済の活性化を図る以外にないと考えるが。

A 市民生活に直結する安全・安心と防災・減災に係る施策を最優先に推進したいと考えており、早急に整備が必要な事業、例えば本庁舎を含めた公共施設の耐震化、インフラ整備などを優先することが重要と考えている。

Q 市長は船井跡地の活用について抽象的な発言に終始しているが、自らが方向性を示さなければならぬのではと考えるが、具体的にどのようなものを整備しているのか。

A 廉価な維持費で管理運営できる。老若男女誰もが容易に交流できる場、知恵の伝承や文化の伝承

を行える場づくりを考えている。

Q 交流人口の拡大と外部経済の導入による地域経済の活性化、そして市の活性化を図ることについての考えは。

A 祖谷の重要伝統的建造物、祖谷のかずら橋、大歩危・小歩危の景勝地、妖怪伝説、腕山スキー場などをネットワーク化した交流の場として、国内や海外からの交流人口の拡大を図りたい。



雪の祖谷のかずら橋

中 耕司

Q ふるさと納税を産業振興に生かせ

A 可能な品目からの取り組みを検討

Q 全国のおふるさと納税の実績をみると、長野県阿南町のように年間1億円以上の成果をあげている自治体がある。本市も、ふるさと納税と産業振興を組み合わせた施策を検討してはどうか。

A 長野県阿南町の事例は、農業支援を目的とした寄付金を活用し阿南産米を買い上げ、寄付の額に応じて届ける制度で、約1億700万円の寄付があつた。本市も、寄付金を財源として市内産品のうち買い上げが可能な品目から検討する。

Q 9月議会で制定された三好市地酒で乾杯を推進する条例の2条に、市の努力義務として地酒の普及に必要な措置を求められているが、市の対策を問う。

A 本条例は、県内はもとより四国で初めて制定された条例であり、三好市は県内有数の酒所である。この条例の制定を機に、地酒

の知名度の向上やPR活動を推進する。

Q 文科省は、来年度より全国学力調査の結果の公表を、自治体の判断でできることとしたが、本市教育委員会の考えを問う。

A 全国学力テストの本来の目的や趣旨を踏まえ、公表のメリットとデメリットを十分に精査し、三好市の統一見解を図りたい。



並岡和久

Q 銅山川への放水量を増やせ

A 水質改善のため関係機関へ要望する

Q 銅山川は、その源流が愛媛県別子山で、新宮町を経て国道319号線沿いを流れ、三好市山城町川口で吉野川と合流する吉野川最長の支流であり、吉野川水系の1級河川である。渇水期の節水が言われ、銅山川の流れは極端に痩せ汚れ、川の体をなしていないように見える。取水量は規定されているが、銅山川の上流の各ダムの取水量と渇水時の取水量はどのようになっているのか。「銅山川の河川環境を考える懇談会」の意見の内容と対応について問う。

A 銅山川の水質改善を図るため、引き続き各方面にこれまで以上の働きが必要と考えている。

分水量は、別子ダム毎秒4トン、富郷ダム毎秒9・8トン、柳瀬ダム毎秒4・44トン、新宮ダム毎秒11・7トンである。渇水時の取水については、第1次取水制限では工業用水が20%カット、第2



新宮ダム

次取水制限では工業用水が25%カットとなっている。地元の人から、もっと放水量を増やしてほしいと言った要望があり、三好市としてもそういう方向で関係機関に要望する。

大浦忠司

Q もうかる農業のための販売計画は

A 市のブランド商品として取り組む

Q 三野町の新たな特産品としてはれひめの栽培を行っている。とくしま厳選ブランドとして徳島県にも登録されているが、市としての取り組みについて問う。

A 栽培面積拡大のため国の事業で5件の改植を行った。安定した供給体制の整備を急ぎ、フェイスブックを利用した加工用としての利用や市内、阪神方面にも販売促進を行い、引き続き三好市のブランドとして進めていきたい。

Q 道の駅を整備して、道路利用者の休憩機能、地域の情報発信機能を充実させ活力ある地域づくりを行う考えについて問う。

市内3施設の年間利用状況、LANサービスの設置状況、計画は

電気自動車の充電器の計画は
既存施設の改修計画は

A 三野約7万6000人、大歩危約14万5000人、にしいや

約7万5000人

大歩危のみ設置、今後設置の方向で検討する

高額な維持費の解決策が見いだせれば前向きに検討する

予定はないが、今後設置目的に鑑み検証検討していく

提言 新猪ノ鼻トンネルの整備に合わせ、三好市の大きな玄関口として県外客の集客を目指す最先端の道の駅の整備を推進していただきたい。



古井孝司

Q 都市再生整備計画の変更協議経過は

A 交流拠点施設整備等を除く計画

Q 都市再生整備計画の事業費総額36億3500万円、国からの交付金14億5400万円の採択を受けたが、9月議会で交流拠点施設整備を中止し変更を担当部署に指示しているとのことであった。国土交通省との変更協議の経過について問う。

A 社会資本総合整備交付金における、池田町都市再生整備計画は、交流拠点施設整備等を中止した都市再生整備計画として変更事務を行っている。

Q 池田町の基幹事業としている市道上野池南線、市道駅池頭線、三好病院周辺整備、駅前公園の整備事業は進行していくのか問う。

A 市道のうち、上野池南線、駅池頭線については、今回の交流拠点施設に係っている事業なので外す方向で検討している。

Q 公の観光施設を管理運営している第三セクターの今後の取り扱い

い方針について問う。

A 公の施設を管理運営する目的で設立された第三セクターで、当該施設の指定管理に選定されなかった場合においては、他の事業展開もしくは会社の精算を会社においてその方向性を決定する。



三好病院正面入口

西谷 清

Q 地方公務員の政治活動について問う

A 職員の政治的行為は制限されている

Q 先の市長選挙でも、公務員の選挙活動については市民の間でもよく話が出ていた。市民の目から見ると、法的に違反していなくても公務員が選挙活動をするのは好ましいものではないと思っっている方は多い。

今、就職難の中、特に公務員になれるのは非常に狭き門だ。職員のご自愛を希望する。地方公務員の政治活動、選挙活動について市長の所感を問う。

A 地方公務員法第36条に、「職員の政治的行為の制限」が定められており、政党その他の政治団体の結成関与や役員構成員になつてはならず、また勧誘運動等をしてはならないことになっている。市では、選挙のたびに「職員の服務規律の確保について」という文書を全職員に配布している。

Q 三好市の汚水処理状況の向上と地域経済活性化を図るため、生

活排水をPFI方式で推進すべきでは。

A PFI方式は有効な整備手法の一つであると認識している。設置する住民の負担も軽減されるし、地元経済の活性化にもつながると思うので、この実現性について検討していきたい。



高井マサ代

Q 空き家条例をつくる気は

A 国の空き家等特別措置法案を待つ

Q 池田ケーブルルに加入していない世帯は、光ファイバーに接続できないか。

A ケーブルテレビに加入していない世帯は工事の対象となっていない。

Q 2008年住宅・土地統計調査による三好市の空き家は。

A 住宅総数1万6480戸、うち空き家は3700戸、市営住宅1135戸、入居可能な空き家が44戸、老朽化のための政策空き家が100戸、アパート空室は840戸。

Q 空き家再生を支える仕組みを国と自治体が整えてほしいが。

A 東祖谷落合地区で茅葺き民家ステイの改修費は国土交通省の空き家再生等推進事業を財源として実施した。平成20年3月には空き家情報登録制度、いわゆる空き家バンクの要綱を作成したが、現在バンク登録はない。



うだつマルシェ

Q 空き家を利用して例として、うだつのマルシェや川崎百年蔵の音楽ライブの事業に、市ほどの程度関与しているか。

A 協力隊の活動費として運営に必要な消耗品の購入や広報に協力している。

Q 空き屋条例をつくる気は。固定資産税についての考えは。

A 国の空き家等特別措置法を待つ。

天羽 強

Q 雲辺寺道を国史跡指定に

A 史跡指定に向け取り組みたい

Q 池田町佐野から雲辺寺に向かう遍路道は、地元の人たちのボランティアで維持管理されている。文化財として法的に保護するため、国史跡指定の取り組みを。

A 現在、遍路道の文化財の指定、選定に向けた取り組みが行われており、雲辺寺へ通ずる遍路道もその対象だ。林・和田集会所を起点に「四国のみち」の合流地点までの約1.7キロの現地調査について検討中。国の史跡指定を目指し、前向きに取り組みたい。

Q 最低制限価格等の一覧表を作成し、ホームページに掲載すべきだ。

A 合併以降の入札件数は24年度までで約2500件。データ整理に時間を要する。ある程度特定できれば掲載可能だ。

Q 老朽危険空き家対策についての見解は。

A 空き家除却補助金を解体費の



現在の雲辺寺遍路道



道 標

2分の1、上限80万円の予定で、平成26年度からスタートさせるべく準備を進めている。

Q 介護保険利用者助成制度の導入について。

A 介護保険制度自体の問題と捉え、今後検討する。

平田政廣

Q 地方交付税減による地域経済への影響は

A 平成33年度以降も影響はないと考える

Q 財政計画で合併特例措置が切れる平成33年の状況をどのように考えているのか。

A 平成33年度には地方交付税の優遇措置が終了し、平成25年度と比較すると、一般行政費が人口減少等に伴う影響分を考慮し、一般行政経費分全体で34億円減少すると見込んでいます。地方税の減は、地価の下落と経済情勢の悪化による固定資産税及び法人市民税の減収が要因。物件費は、今後の組織再編やアウトソーシングなどにより増減する。補助費の減は、みよし広域連合の事業及び平成28年度の簡易水道事業と上水道の会計統合などの結果で、各種団体補助金の増減ではない。普通建設事業費の減少要因は、平成28年度以降も20億円程度の地域密着型公共事業費を計画しており、公共事業費の規模による地域経済への影響はないものと考えています。

Q 約1000棟ある施設の全体の

現状把握、それぞれ施設の老朽化の状況や利用の状況、そして施設の維持管理コストを把握しているか。

A 把握をしていれば、市民に情報開示し、2040年の市の姿をどうするのか、市民との協働によるまちづくりに取り組む市の考えは。

A 1000棟ぐらいの施設があるが施設の状況把握はできていない。各施設の利用状況や経過年数、老朽化の程度、維持管理コスト等、どのくらいかかっているのかを今後取りまとめる。次年度以降は、担当部署を設置し積極的にこの問題に取り組んでいきたいと考えている。



柿岡敏弘

Q 企業誘致と商工業活性化は

A 関係事業を活用し積極的に取り組む

Q 9月定例会で市長が所信表明した企業誘致と商工業の活性化の具体策を問う。

A 平成19年に制定した企業立地促進条例にて企業誘致を促進してきた。具体的には企業へのアンケート調査、企業訪問、資料提供。

A 高速通信網、休廃校施設を活用して誘致の促進を図る。市内商工業に対しては商店街等活性化支援事業、就職緊急支援事業、創業促進事業にて活性化を図る。

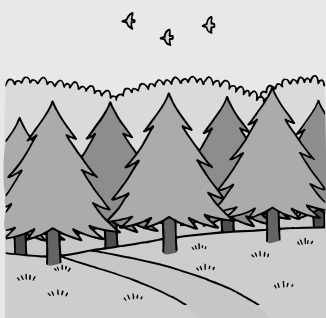
Q 三好市の企業立地促進条例は他自治体のそれと比較して優れているのか、企業にとって魅力的で必要十分か。また、実際に運用してみている課題はあるのか。

A 三好市の制度は他自治体と比較しても遜色ない。企業にとって他自治体よりも有利な制度だ。自治体間の競争激化状態であり、指定要件の緩和等、見直しが必要。すでに検討を始めている。

Q 市長自身が率先して企業等を訪問する意思はあるか。

A 今議会終了後、近隣の企業を訪問する予定。積極的に訪問して企業誘致に向け頑張る。

提言 管内、庁舎内は副市長以下部下に任せ、誘致可能な企業、事業所、また県庁、中央省庁を積極的に訪問し、より多くの予算と助成金、雇用機会を三好市にもたらすよう提言する。



伊丹征治

Q 交流拠点施設整備の方向性は

A 廉価な維持費の交流の場とする

Q 三好市の借金は、実質的にゼロである。合併10年を経過すると地方交付税の減少が想定されるが、三好市の財政運営に及ぼす影響は。

A 三好市の財政運営は、合併以降の積極的な財政改革により毎年剰余金が発生する状況だが、財政計画上財源不足が発生する見込みであるので継続した行財政改革の取り組みが重要である。

Q 人口が減少し産業基盤が脆弱化しつつある三好市にとって、外部経済の導入による地域経済の活性化を図り、三好市に元気を取り戻すことが必要不可欠かつ重要な課題だと思いが。

A 市民の安全・安心、命を守る、このことに自治体の首長として邁進しなければならぬし、奔走しなければならぬ。

Q 9月定例会で市長から、「老若男女誰しも集え、知恵と文化の継

承できる施設」との答弁をもらったが、抽象的ではなく具体的に問う。

A 本来に財政の長期的な視野に立つて公平公正な市政の運営に努め、市民生活維持向上のために最大限努力し、市政に対する信頼性を高め、廉価な維持費で老若男女誰でもが容易に交流できる場、知恵の伝承や文化の伝承などを行える場としたい。



船井跡地

三木和弘

Q 国の天然記念物指定後の対応は

A 資料展示等積極的にPRに努める

Q 市は2012年9月大歩危峽を国の天然記念物に指定の申請をしていたが、2014年2月指定されるとのこと。指定となれば観光地大歩危・小歩危の新しい魅力、観光資源として行政担当部局の対応は。

A 天然記念物に指定となればラピス大歩危や関係者と協議し、よりわかりやすく説明資料などの展示を行い積極的にPRに努める。

Q 大正元年10月23日、祖谷川に2000キロワットで当時四国最大の水路式水力発電所（旧三縄発電所）が、福沢諭吉の娘婿の福沢桃介社長によって建設され、昭和34年に閉鎖。今では人目に付かずひっそりと赤レンガの建物が当時を忍ばせている。またその他市内には私たちが目にしたことのない素晴らしいB級観光スポットがあると考える。それらを探しだし整備する考えはないか。

A 今、にし阿波観光圏確立支援事業において、千年のかくれんぼをテーマとしたフォトコンテストを開催しており、応募頂いた題材を積極的に活用していきたい。三好市まるごと観光地を目指し、B級スポットの掘り起こしも官民協働で取り組みたい。



旧三縄発電所

山子凱雄

Q 黒川市長の行政運営を探る

A 市民と協働して行う

Q 9月議会で文化交流拠点施設整備事業を中止した。代替利活用策は、誰もが寄り集い交流できる「先人の功績、知恵の伝承・文化の伝承」の場を市民と相談して決める。と抽象的表現の繰り返しである。いつからどのような手法で方針を出すのか。市長が描いている廉価な維持費で管理運営できる施設とは。

A 船井跡地の利活用については、検討過程の段階から情報をオープンにし伝え、市民とのコミュニケーションをとり合意形成を図る。廉価な維持費で管理運営とは、老若男女が誰もが容易に交流できる場、知恵の伝承や文化の伝承を行える場としたい。跡地の建物を取り壊して更地にして市民と協働して行う。

Q 黒川市長にとって、初めての次年度予算編成である。合併優遇措置の縮減に向かい、財政的に4

〜5年が勝負だ。本市の将来像を描き、枝葉でなく根幹をなす市長の取り組み如何である。脆弱な産業基盤の中で公共事業の依存度は高く、地域経済の衰退を懸念する。産業振興施策を積極的に取り組み、雇用の維持拡大と若者定住に知恵と予算を投入すべきだ。

A 旧6カ町村の合併算定替による地方交付税はあと2年で漸減していく。平成33年には一本算定になり、いかにソフトランディングできるかである。新しいものを作ることは非常に難しい。社会基盤の長寿命化対策、維持修繕することが大変な時代になる。少子化対策、人づくりにお金を投じ、将来を見据えた持続可能な財政運営を行う。



千葉清春

Q 市営バス年齢割引に差はないか

A 路線により高齢者割引に差がある

Q 市営バスの利用者の推移は。
A 合計13路線で利用延べ人数3万2773人で534人減。運行委託料9636万1000円で428万2000円の増である。
Q 三野路線は東みよし町で乗降できず不便である。この対策は。
A 東みよし町での乗降は、事務協議を精力的に進めている。
Q 市営バス運営路線により、年齢による割引の違いがないか。
A 高齢者部分で70歳から割引がある。三野は75歳から割引に違いがあったが4月から統一する。

Q 東みよし町との共同運営できないか問う。
A 東みよし町との協議を行い今後の検討課題としたい。
Q 利用者数に対してバスが大きいので、経費面を心配している住民がたくさんいるが小型化は。
A 合計7台の予備車を保有している。この7台は現役で走れる車



市営バス

両であり、次の買替えて検討する。
Q 辺地タクシー制度について問う。
A 助成対象地域バス停より2^キメートル以上を1^キメートル以上に、個人負担上限を800円、一人当たり助成回数を年48回から72回とし助成額の拡大を図ってきた。

大黒慎一郎

Q 老朽化した市営住宅の対策は

A 耐震診断等の適切な管理に努める

Q 市営住宅は270棟、戸数で1100戸余りあると思うが、築後、長年経過し耐震も出ていない。老朽化した市営住宅の対策について公営住宅等長寿命化計画の進捗状況について問う。

A 平成23年度から32年度までの公営住宅等長寿命化計画を策定している。人口推計を基に住宅環境の改善、安全性の確保等を考慮し、32年度の公営住宅の需要予測として、200戸減の940戸としている。耐震診断については、昭和56年以前に建設された21団地を対象とし、今回の補正予算を含めて、13団地の診断の実施をする。また入居していない老朽化した1戸前住宅については、除去及び団地の集約、他の団地への転居の推進等により適切な管理運営を行う。

Q 今年も各地で台風、ゲリラ豪雨、竜巻などの災害が続いた。県

下においても沿岸部では津波対策がされているが、市内の山間部は殆どが急傾斜地、危険箇所が深層崩壊の危険性が予測される。地震、台風など土砂災害に対応するため危険箇所の把握は出来ているのか。

A 市における危険箇所は土石流危険箇所250箇所、地滑り危険箇所182箇所、急傾斜地崩壊危険箇所1735箇所ある。対策工事を施工する事業と合わせて、調査内容を住民に周知するソフト事業を実施し、早期避難や危険宅地への新規建築規制等により安全性向上を図る目的でハード、ソフトの両面から防災対策を行う。



木下善之

Q 老若男女が集える場とはなにか

A 市民の意見を聞き、具体化していく

Q 老若男女が集える廉価な施設とは、これまで議会で議論されてきた交流拠点施設とどのような違いがあるのか。

A 前市長時代に計画されていた交流拠点施設は建設費約32億円、人件費を除いた維持管理費約600万円、600席を超えるホールをメインにした施設であった。

旧船井電機池田工場跡地の利活用については、廉価な維持費で管理運営できること、市民誰もが容易に交流できる場、知恵の伝承や文化の伝承を通して、人づくりに資することを基本としている。市民の意見等を伺い、検討し、具現化など漸進していく。

Q 9月議会では職員給与は削減しないとの答弁だったが、突然の給与削減提案はなぜか。

A 9月の段階では、国が地方公務員の給与を強制的に削減しよう

とする措置は地方分権に関わる問題で、地方が議会の同意を求めて自主的に対応すべきもの。また給与の独自カットや計画以上の職員削減を行っていることなどを考慮し、現在のところ職員の給与を削減するつもりはないと述べた。

その後全国状況を見ると、政府の給与減額要請に全国1722団体のうち1250団体が、四国では38市のうち本市を除く全ての市が応じており、また給与削減措置未実施に係る地方交付税等への影響などが懸念され、総合的に判断した。



議案・陳情の審議結果（起立採決をとった議案について掲載）

賛成、 反対、 退 - 退席、 17番議長は採決に加わっておりません

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	18	19	20	21	22	23	24	
議員名	西内浩真	古井孝司	吉田和男	多田敬	高井マサ代	近藤忠明	中耕司	土井忠行	柿岡敏弘	並岡和久	天羽清春	千葉盛晴	美浪政廣	平田善之	木下浦一	大立川和弘	三西谷征治	伊丹凱雄	山子凱雄	大黒慎一郎	宮内明治			
議案第95号 指定管理者の指定について （三好市ふれあい紅葉センター）																								
議案第96号 指定管理者の指定について （塩塚高原キャンプ場）																								
議案第97号 指定管理者の指定について （三好市井川森林総合利用施設）																								
議案第99号 指定管理者の指定について （奥祖谷観光周遊モノレール）																								
議案第101号 平成25年度三好市一般会計 補正予算（第4号）修正案																								
議案第101号 平成25年度三好市一般会計 補正予算（第4号）修正部分 を除く原案																								
議案第105号 三好市職員等の給与の臨時 特例に関する条例の制定に ついて																								
請願第1号 核兵器廃絶に関する意見書 の採択を求める請願書																								
陳情第14号 緑茶で乾杯を推進する条例 の制定についての陳情書																								
陳情第17号 公費負担にもとづく最低保 障年金の創設を求める請願																								
陳情第18号 年金2.5%引き下げの中止 を求める請願																								
発議第19号 黒川征一市長に対する問責 決議について	退																							

平成25年12月定例会議に提出された報告・承認・議案等・議決結果は、次のとおりです。

議案番号	件名	結果
議案第75号	財産の無償貸付けについて（河内地域多目的施設） （河内地域多目的施設のうち会議室3室を新たに「モリウ工商事株式会社」に無償で貸付）	可決
議案第76号	三好市住民基本台帳カード利用に関する条例の制定について （コンビニエンスストアにおいて、住民基本台帳カードを利用し証明書の交付サービスを行うために必要となる条例の制定）	可決
議案第77号	三好市印鑑条例の一部を改正する条例について （コンビニエンスストアにおいて、住民基本台帳カードを印鑑登録証とするため必要となる条例の改正）	可決
議案第78号	三好市地域多目的施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について （休廃校等活用事業にあたり、行政財産を普通財産とし利活用するため、本条例の別表から西山地域多目的施設を削除する条例の改正）	可決
議案第79号	三好市教職員宿舎の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について （小中学校の廃校及び老朽化等に伴い、利用されなくなった教職員宿舎11施設を廃止する条例の改正）	可決
議案第80号	三好市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について （乳幼児等医療費助成制度を、現行の「小学校6年生まで」を「中学校3年生まで」に拡大するための条例の改正）	可決
議案第81号	三好市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について （国税等において延滞税の割合の特例が見直されたことに伴う条例の改正）	可決
議案第82号	三好市地域特産物利用伝習施設使用条例の制定について （公の施設として管理を行っている東祖谷の地域特産物利用加工施設及び伝統食品保存伝習施設を、市長の許可により使用させるための条例の制定）	可決
議案第83号	三好市農林生産物展示販売施設使用条例の制定について （公の施設として管理を行っている東祖谷の農林生産物展示販売施設を、市長の許可により使用させるための条例の制定）	可決
議案第84号	三好市林業活動拠点施設使用条例の制定について （公の施設として管理を行っている山城町の林業活動拠点施設を、市長の許可により使用させるための条例の制定）	可決
議案第85号	三好市集成材加工施設使用条例の制定について （公の施設として管理を行っている山城町の集成材加工施設を、市長の許可により使用させるための条例の制定）	可決
議案第86号	三好市間伐材集積・加工施設使用条例の制定について （山城町に整備を進めている薪加工関連施設の施設使用条例の制定）	可決
議案第87号	三好市東祖谷落合滞在型観光施設条例の一部を改正する条例について （整備を進めている古民家ステイ3棟を新たに追加する条例の改正）	可決
議案第88号	財産の無償貸付けについて（西山地域多目的施設） （「NPO法人ワーカーズコープ」に無償で貸付けるため、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるもの）	可決
議案第89号	財産の無償貸付けについて（馬場地域多目的施設） （「NPO法人てつとる」に無償で貸付けるため、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるもの）	可決

議案番号	件名	結果
議案第90号	施設の無償使用について（三好市地域特産物利用伝習施設） （「東祖谷山菜加工生産組合」に無償で使用させるため、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるもの）	可決
議案第91号	施設の無償使用について（三好市農林生産物展示販売施設） （「社会福祉法人 三好市社会福祉協議会」に無償で使用させるため、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるもの）	可決
議案第92号	施設の無償使用について（三好市林業活動拠点施設） （「榑山城もくもく」に無償で使用させるため、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるもの）	可決
議案第93号	施設の無償使用について（三好市集成材加工施設） （「榑山城もくもく」に無償で使用させるため、地方自治法の規定に基づき議会の議決を求めるもの）	可決
議案第94号	指定管理者の指定について（三好市健康とふれあいの森） （5年間「公益財団法人 徳島県勤労者福祉ネットワーク」に管理運営を行わせるため指定するもの）	可決
議案第95号	指定管理者の指定について（三好市ふれあい紅葉センター） （5年間「榑共立メンテナンス」に管理運営を行わせるため指定するもの）	多数可決
議案第96号	指定管理者の指定について（塩塚高原キャンプ場） （5年間「榑マックアースリゾート」に管理運営を行わせるため指定するもの）	多数可決
議案第97号	指定管理者の指定について（三好市井川森林総合利用施設） （5年間「榑マックアースリゾート」に管理運営を行わせるため指定するもの）	多数可決
議案第98号	指定管理者の指定について（サンリバー大歩危） （5年間「榑かいげつ」に管理運営を行わせるため指定するもの）	可決
議案第99号	指定管理者の指定について（奥祖谷観光周遊モノレール） （4年間「榑明和クリーン」に管理運営を行わせるため指定するもの）	多数可決
議案第100号	指定管理者の指定について（紅葉温泉デイサービスセンター・紅葉センターデイサービス・三好市三野ふれあいコミュニティーセンター） （5年間「社会福祉法人 三好市社会福祉協議会」に管理運営を行わせるため指定するもの）	可決
議案第101号	平成25年度三好市一般会計補正予算（第4号）	修正可決
議案第102号	平成25年度三好市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第103号	平成25年度三好市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可決
議案第104号	平成25年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第105号	三好市職員等の給与の臨時特例に関する条例の制定について （国家公務員の給与減額措置を踏まえ、職員等の給料を平成26年1月から3月までの間、3～10%減額する条例の制定）	多数可決

請願番号	件名	採択結果
請願第1号	核兵器廃絶に関する意見書の採択を求める請願書	不採択
陳情番号	件名	採択結果
陳情第11号	介護職員の処遇改善を求める陳情書	採 択
陳情第12号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	採 択
陳情第13号	原木乾燥椎茸産業全般への支援についての陳情書	採 択
陳情第14号	緑茶で乾杯を推進する条例の制定についての陳情書	不採択
陳情第15号	三好市新山多目的広場の整備について（要望）	採 択
陳情第16号	じん肺・アスベスト被害根絶を求める要請書	採 択
陳情第17号	公費負担にもとづく最低保障年金の創設を求める請願	不採択
陳情第18号	年金2.5%引き下げの中止を求める請願	不採択
同意番号	件名	同意結果
同意第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同 意
発議番号	件名	議決結果
発議第16号	介護職員の処遇改善を求める意見書の提出について	可 決
発議第17号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書の提出について	可 決
発議第18号	"じん肺・アスベスト被害根絶を求める意見書の提出について"	可 決
発議第19号	黒川征一市長に対する問責決議について	多数可決

問責決議

平成25年12月定例会議において、議員発議により黒川市長に対する問責決議案が提出され、質疑、討論の後、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

黒川征一市長に対する問責決議

問責決議

黒川市長、就任して以来5カ月、9月定例会議や通年会期に移行し、12月定例会議において、新市長に対し諸般の施策、市政運営について、多数の議員が質問し、なかでも、黒川氏の選挙公約で市長選挙の最大の争点であった、船井電機池田工場跡地に計画の「交流拠点施設整備事業」について中止の場合、跡地の利活用代替案と今後の方策について、どのように考えているかと黒川市長の考えを質したが、交流拠点施設整備事業は公約通り中止し、「誰もが寄り集い、先人の功績文化の伝承・知恵の伝承の場とし、廉価な維持費で運営できるものを市民と相談して決める」と、具体案は何一つ明らかにせず、殊更に繰り返し循環論法の答弁であり、議会軽視である。

三好市に思いを馳せ、本市の発展を願う、船井会長様から無償で寄贈いただいた貴重な土地について、いつからどのような方法で市民と話し合いを始めるかと質しても、市長として具体案は示さず、建物を解体除去しないとイメージが湧かないとの答弁である。しかし9月定例会議で複数の議員から、船井電機池田工場跡地の建物は景観上好ましくない、解体してはとの質問に「市民との話し合いの中で活用策も踏まえ検討、解体費用が相当いる、過疎債の適用は難しい」とあったが、今議会に基金を取り崩し450万円の予算計上である。言うことが違うと、設計調査費は代替案を描き、一体として財源を確保すべきである。

当選後のインタビューでは、船井電機池田工場跡地については「市民に考えてもらう。その結果がどうなるうとも、良いことも悪いことも市民が享受しなければならぬ」と述べ、市民に責任を転嫁し、市長自身が責任を逃れようとしている政治姿勢は、断じて許せない。

本市は定住と交流を育むまちをスローガンに、都市再生整備計画の中核を為す事業として取り組んできた、国土交通省交付金事業30億2000万円のうち、交流拠点施設整備事業及び関連事業を含めて、26億円余りが市長の指示によって削減し、4億円ほどに計画変更され、基幹事業は骨抜きとなり、今後の本省に対する事業採択

の要望は極めて懸念するものである。

地方交付税の減額措置に伴う、国家公務員の給与減額に準じ、地方公務員給与の削減について、9月議会では本市はどうされるかとの議員の問いに対し、市長は職員給与のカットはしないと答弁されたが、今議会では一変し、「四国38市の中で三好市だけが削減していない、削減したい」と今議会に提案し、議案第105号は可決となった。このように2転3転し、黒川市長の行政運営は一貫性に欠けていると言わざるをえない。

9月議会・12月定例会議をとおり、市長の政治手法が分かってきたが、質問の本旨をはぐらかし、遠回りに論法巧みにその場を逃げ切る戦法と言える。市長、あなたが14年間徳島県議会議員として培ってきた、これが政治手法ですか。政治は賛成・反対があつて当然であります。しかし政治は、合意形成を図る知恵と努力が必要であります。

これまでの市政運営は合併後の厳しい時期を耐えに耐えて、行財政改革を推進し、大型の事業をやり遂げながら財政の健全化を図り、決して無計画、無節操で進め

てきたものでない。

黒川市長には、目先のことだけでなく大きな次元で三好市の夢ある将来を描き、施策の具現化に取り組むこと、市民から直接選挙で選ばれ、二元代表制を組織する議員の質問に対し真摯に受け止め、答えていただくことを強く求め、黒川市長に猛省を促し、その責任を強く問うものである。

平成25年12月25日

三好市議会

問責決議とは

地方議会における決議には、長不信任案決議案、議会解散決議案などの法的効果が生じるものと、議長不信任決議案、議員辞職勧告決議案、議員の発言に対する問責決議案など法的効果が生じないものがあります。長に対する問責決議案は法令上認められていませんが、例えば執行機関に不祥事があり長を不信任するほどではないがその責任を問う必要がある場合、長の発言に不適当な部分がありこれの責任を問う場合等に提出されます。

文教厚生常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第76号	三好市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について	可決
議案第77号	三好市印鑑条例の一部を改正する条例について	可決
議案第79号	三好市教職員宿舍の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第80号	三好市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第81号	三好市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第100号	指定管理者の指定について (紅葉温泉デイサービスセンター・紅葉センターデイサービス・三好市三野ふれあいコミュニティーセンター)	可決
議案第101号	平成25年度三好市一般会計補正予算(第4号)	可決
議案第102号	平成25年度三好市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	可決
議案第103号	平成25年度三好市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決
議案第104号	平成25年度三好市国民健康保険市立三野病院特別会計補正予算(第2号)	可決
陳情第11号	介護職員の処遇改善を求める陳情書	採択
陳情第12号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	採択
陳情第15号	三好市新山多目的広場の整備について(要望)	採択
陳情第16号	じん肺・アスベスト被害根絶を求める要請書	採択
陳情第17号	公費負担にもとづく最低保障年金の創設を求める請願	不採択
陳情第18号	年金2.5%引き下げの中止を求める請願	不採択

文教厚生常任
委員会報告

市長提出議案10件、陳情6件を審査し、市長提出議案は全て原案のとおり可決、陳情第17号、18号については不採択、残りの陳情は全て採択となった。

議案第76号

三好市住民基本台帳カードの利用に関する条例の制定について

【問】

住民基本台帳カードの導入コストと維持管理費、サービスの提供時間、発行手数料はどのようになるか。

【答】

導入コストは4000万円、維持管理費が年間700万円、サービスの提供時間は、年末年始の期

議案第79号

三好市教職員宿舍の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

【問】

今回廃止する教員宿舍について、今後の計画はどうなっているか。

【答】

解体撤去の方向で考えており、廃止する11施設の内3施設は耐震基準を満たしているが、住宅といふことで床面積も小さく、地域振興の観点からの活用は現状では難しいと考えているが、活用が可能であれば関係部署と今後協議をしていきたい。

議案第80号

三好市乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例について

【問】

中学校卒業まで子どもの医療費を助成することになるが、県下で何番目か。入院、通院の自己負担600円を無償にできないのか。

【答】

中学校まで助成が15市町村、18歳に達するまで助成が1町で三好市は17番目である。自己負担につ

いては、制度が医療費助成・経済的負担の軽減であること、また県の条例に準拠したかたちで運用している。

【提言】

高校卒業まで医療費を助成することが今後の課題あり、医療費助成の所得制限は撤廃するべきである。

議案第100号

指定管理者の指定について(紅葉温泉デイサービスセンター・紅葉センターデイサービス・三好市三野ふれあいコミュニティーセンター)

【問】

社会福祉協議会のみ応募で5年間の指定となるが、福祉施設の場合は過去の指定管理の評価が良ければ次は公募せず、引き続き指定することはできないのか。

【答】

現在より長期期間で募集を行いたいと考えているが、指定管理運営委員会で全体的な統一を図っていきたい。

陳情

陳情第17号、陳情第18号については、起立採決の結果、賛成少数で不採択となった。

陳情第11号、陳情第12号、陳情第15号、陳情第16号については、異議なく採択となった。

産業建設常任委員会付託案件

議案番号	件名	議決結果
議案第82号	三好市地域特産物利用伝習施設使用条例の制定について	可決
議案第83号	三好市農林生産物展示販売施設使用条例の制定について	可決
議案第84号	三好市林業活動拠点施設使用条例の制定について	可決
議案第85号	三好市集成材加工施設使用条例の制定について	可決
議案第86号	三好市間伐材集積・加工施設使用条例の制定について	可決
議案第87号	三好市東祖谷落合滞在型観光施設条例の一部を改正する条例について	可決
議案第90号	施設の無償使用について (三好市地域特産物利用伝習施設)	可決
議案第91号	施設の無償使用について (三好市農林生産物展示販売施設)	可決
議案第92号	施設の無償使用について(三好市林業活動拠点施設)	可決
議案第93号	施設の無償使用について(三好市集成材加工施設)	可決
議案第94号	指定管理者の指定について (三好市健康とふれあいの森)	可決
議案第95号	指定管理者の指定について (三好市ふれあい紅葉センター)	可決
議案第96号	指定管理者の指定について(塩塚高原キャンプ場)	可決
議案第97号	指定管理者の指定について (三好市井川森林総合利用施設)	可決
議案第98号	指定管理者の指定について(サンリバー大歩危)	可決
議案第99号	指定管理者の指定について (奥祖谷観光周遊モノレール)	可決
議案第101号	平成25年度三好市一般会計補正予算(第4号)	可決
陳情第13号	原木乾燥椎茸産業全般への支援についての陳情書	採択
陳情第14号	緑茶で乾杯を推進する条例の制定についての陳情書	不採択

産業建設常任
委員会報告

市長提出議案17件、陳情2件を審査し、市長提出議案は全て原案のとおり可決、陳情1件については採択、1件については不採択となった。

議案第85号及び議案第86号

三好市集成材加工施設使用条例の制定及び間伐材集積・加工施設使用条例について

【問】

施設を使用する山城もくもくで、薪の生産状況は。

【答】

山城もくもくで、三好市の施設で使用する薪の70パーセントを生産する計画である。バイオマスボイラーの稼働も始まっており、間伐材以外の雑木等や家屋の解体時

の廃材等も利用も考えている。

【問】

同一敷地内にある施設については、一括管理をした方が効果的ではないか。

【答】

一括管理に向けた検討を行った。

議案第87号

東祖谷落合滞在型観光施設条例の一部を改正する条例について

【問】

施設管理状況及び今回の改正利用料金は。

【答】

市の直営施設として運営し、管理をNPO法人に委託し、地元住民とともに管理している。また、利用料の改正は、施設のグレード、利用時期により利用料金の差を設ける改正となっている。

議案第97号

指定管理者の指定について(三好市井川森林総合利用施設)

【問】

指定管理施設での地域雇用は。

【答】

塩塚高原との連携の施設を管理するので、地域で雇用が見込まれると考えている。

【提言】

スキー場と塩塚高原での従業員の人材雇用と地元食材の活用を図ってほしい。

議案第101号

平成25年度三好市一般会計補正予算(第4号)

高性能林業機械導入補助金についての事業計画の説明を求める。

【問】

今回購入の高性能機械については、三好市内の木材利用を推進するための森林整備を集約した経営計画を作成しており、その計画を実施するにあたり機械導入を補助するものである。

【答】

作業員の人数に対して、機械の台数が多いのではないかと。高性能機械を購入することによるメリットはなにか。

【問】

経営計画における計画量と実際の作業量のバランスが重要である。作業計画と実施能力が適切であるかどうかを県と審査し、その結果適切との判断を行なった。平成28年度からは年間約4万立方メートルの搬出間伐が出来る計画となっている。

【答】

陳情第13号

原木乾燥椎茸産業全般への支援についての陳情書

異議なく採択となった。

陳情第14号

緑茶で乾杯を推進する条例の制定について

お茶は、三好市の地場産業の振興のために育成していかねばならないが、乾杯にはそぐわないのではないかという意見があり、起立採決の結果賛成少数で不採択となった。

総務企画常任委員会付託案件

総務企画常任
委員会報告

市長提出議案4件、請願1件を審査し、市長提出議案のうち議案第101号については修正動議が提出され、修正案と修正部分を除いた原案が可決、残り3件は原案のとおり可決。請願第1号は不採択となった。

議案番号	件名	議決結果
議案第78号	三好市地域多目的施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
議案第88号	財産の無償貸付けについて（西山地域多目的施設）	可決
議案第89号	財産の無償貸付けについて（馬場地域多目的施設）	可決
議案第101号	平成25年度三好市一般会計補正予算（第4号）	修正可決
請願第1号	核兵器廃絶に関する意見書の採択を求める請願書	不採択

議案第78号

三好市地域多目的施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

【問】

再開の見込みのない休校施設については、利用申入れに迅速に対応するため、行政財産から普通財産とする考えはないか。

【答】

休校施設が再開の見込みがないという判断は教育委員会で行うが、廃校施設は地域多目的施設として、地域の拠点として利用されていることから、まず地域の同意が必要と認識している。

議案第88号

財産の無償貸付け（西山地域多目的施設）について

【問】

業務内容の詳細、また地元雇用は何人か。

【答】

住民が主体的に働き、地域で多様な仕事を生み出し、新たな雇用を創出し地域の存続に繋げることが目的として、産直市の開催、バイオ燃料づくり、福祉的サービスの展開、観光・体験事業、学びの場の提供を行う予定であり、地元

雇用として11名を計画している。

【問】

選定した根拠は。

【答】

提案された事業の妥当性や財務資料から判断して十分運営能力があり、公益目的に適合性があると判断し選定を行った。

議案第89号

財産の無償貸付け（馬場地域多目的施設）について

【問】

消防の関係で、学校と宿泊施設では基準が違ってくると思うが、計画書の中でどういう扱いになっているか。

【答】

消防法に則り施設運営がされるものと考えている。また施設全体が無償貸付けとなるので、すべて使用者の費用負担となることを募集要項で定めている。

議案第101号

平成25年度三好市一般会計補正予算（第4号）

【動議】

財産管理費の調査設計委託料及び基金繰入金のまちづくり基金繰

入金をそれぞれ450万円減額する修正案が提出された。

【提案理由】

船井電機跡地の建物解体にむけた調査設計委託料は、跡地の利活用を示し、事業と一体とした上で有利な財源を確保し、基金を取り崩すことなく予算計上を行うべきものである。

質疑、討論の後、修正案について起立採決の結果、賛成多数で可決、修正部分を除いた原案については全会一致で可決となった。

請願第1号

核兵器廃絶に関する意見書の採択を求める請願書

【反対討論】

願意の妥当性は別としても、その内容は三好市の権限に属しない国際的な問題であり、国で論議すべき事項である。

【賛成討論】

世界で唯一の被爆国である日本こそ、核兵器を廃絶するために取り組むべき立場にある。

起立採決の結果、賛成少数で不採択となった。

議会のうごき

月日 曜日 市議会関係会議・行事等

- 11月6日(水) 国道439号京柱トンネル開通促進期成同盟会後期要望(高知・徳島)
福井県勝山市議会総務文教厚生常任委員会視察来訪
千葉県鴨川市議会総務常任委員会視察来訪
- 11月7日(木) 第63回西日本市議会職員研修会(大分県佐伯市)～8日
- 11月8日(金) 名古屋市議会会派視察来訪
- 11月11日(月) 地方議会活性化シンポジウム2013(東京)
- 11月12日(火) 四国ブロック・議員年金制度に関する研修会(徳島市)
- 11月13日(水) 小松島市議会議員視察来訪
- 11月14日(木) 四国土砂防災ネットワーク議員連盟要望活動(東京)
- 11月15日(金) 全国過疎地域自立促進連盟第44回定期総会(東京)
- 11月19日(火) 全国治水砂防促進大会(東京)
- 11月20日(水) 議会運営委員会
- 11月21日(木) 第7回国と地方の協議の場等に関する特別委員会(東京)
- 11月22日(金) 西井川小学校改築工事起工式
- 11月23日(土) 第65回全国人権・同和教育研究大会(徳島市)
- 11月25日(月) 四国直轄砂防後期要望(高松市)
- 11月27日(水) 国道439号京柱トンネル開通促進期成同盟会後期要望(東京)



千葉県鴨川市議会視察来訪

- 12月2日(月) 開会・議案説明
- 12月9日(月) 代表・一般質問
- 12月10日(火) 一般質問
- 12月11日(水) 一般質問
- 12月12日(木) 一般質問・議案質疑・委員会付託
- 12月16日(月) 文教厚生常任委員会
- 12月17日(火) 産業建設常任委員会
- 12月18日(水) 総務企画常任委員会
- 12月20日(金) 船井電機池田工場跡地利活用調査特別委員会
議会運営委員会
- 12月25日(水) 委員長報告、質疑・討論、採決、散会

編集後記

最後の編集会議となりました。今回は、代表・一般質問者が多く、充実した編集中心でした。

今年度は、各定例会ごとにいろいろありましたが、最大のテーマとなった交流拠点施設をめぐる、激論が戦わされ、政治が大きく動きました。

三好市議会は、過去、現在、未来へと続いていきます。本誌はそのときどきの議会の記録として、市民の皆さんに読み続けられ、各家庭の片遇に置かれていくでしょう。

編集委員一同は市民皆様の幸せを願いながら一日一日、歩いて参ります。

ご愛読ありがとうございました。

(美浪盛晴)

三好市議会広報編集委員会

委員長	古井 孝司
副委員長	美浪 盛晴
委員	高井マサ代
委員	中 耕司
委員	千葉 清春
委員	西内 浩真